	ナビゲーションマウンター（カバードハンドル） **組付・取扱説明書**	適応機種 YP250G（5VG）

はじめに
この取付説明書は、ナビマウンターの取り付けのみを説明しています。ナビゲイションについては、同製品に付属の取付・取扱説明書を参照してください。

工数：0.5h

◘お 客 様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。
本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。
本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

◘販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。
本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠警 告 **取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。**

⚠注 意 **取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**

要　点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

📖 ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

構　成　部　品

No.	品　名	部品番号	数量	備　考
①	ナビマウンターサブアッセンブリー		1	
②	カバー		1	
③	ダイヤルスクリュー		1	
④	ゴムワッシャー		1	
⑤	ワッシャー	90201-06026	1	6.1×25　t=4.5
⑥	電源コード		1	
⑦	サブハーネス		1	
⑧	クランプ	90460-15126	2	リセットバンド
⑨	クランプ		4	
⑩	チューブ		1	φ6×500mm
⑪	コネクター		2	赤色
⑫	ウエルナット	90179-05523	3	
⑬	スクリュー	98907-05020	3	M5×20
⑭	丸ギボシCA104（オス）		1	
⑮	丸ギボシCB104（メス）		1	
⑯	CA104用スリーブ（オス）		1	
⑰	CB104用スリーブ（メス）		1	

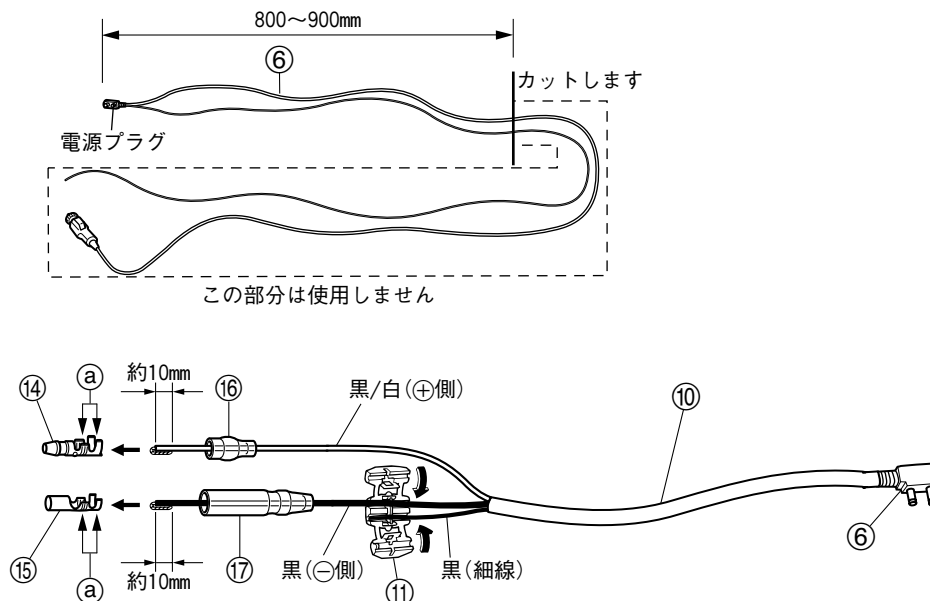
部品番号欄が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

⚠警 告

バッテリー㊀端子を外してから作業を行ってください。 📖

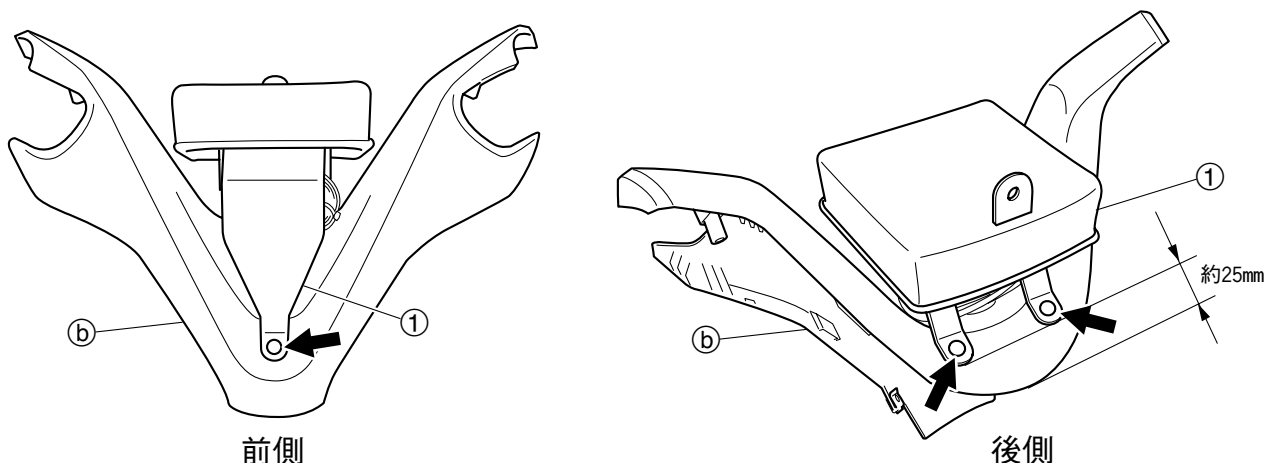
準　備　作　業

電源コードの加工

1.電源コード⑥を電源プラグより800～900mmの長さでカットします。
2.チューブ⑩を電源コードにかぶせます。
3.電源コード⑥の黒リード線（㊀側）と黒の細線をコネクター⑪で接続します。
4.電源コード⑥の黒／白リード線（㊉側）先端にスリーブ（オス）⑯、丸ギボシ（オス）⑭、黒リード線（㊀側）先端にスリーブ（メス）⑰、丸ギボシ（メス）⑮を取り付けます。
（各丸ギボシの 2 か所（ⓐ部）は専用のカシメ工具で確実にカシメてください。）

要　点

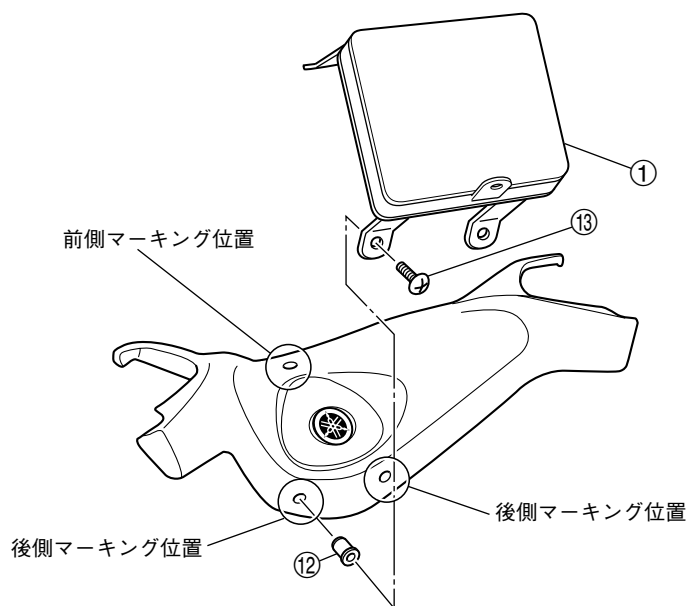
電源コードは二重に折り返し（約10mm）て、丸ギボシ（オス、メス）に取り付けると確実です。

取　付　方　法

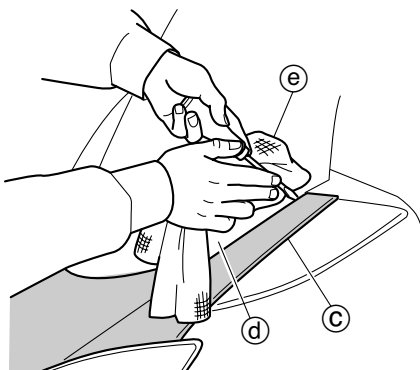
1.ハンドルアッパーカバーⓑにナビステーセットサブアッセンブリー①を合わせて前側にマーキングをします。
2.ハンドルアッパーカバーを取り外し、ステップドリルなどを使用してマーキング部にφ9.4～9.5mmの孔を開けます。
3.ウェルナット⑫をアッパーカバーの孔開け部に組み付け、スクリュー⑬でナビマウンターサブアッセンブリーを仮取り付けします。
4.ナビマウンターサブアッセンブリーのセンターや水平を確認しながら後側孔開け部2か所をマーキングします。
5.仮取り付けしたナビマウンターサブアッセンブリーを取り外し、前側同様にステップドリルなどを使用してマーキング部にφ9.4～9.5mmの孔を開けます。

⚠注 意

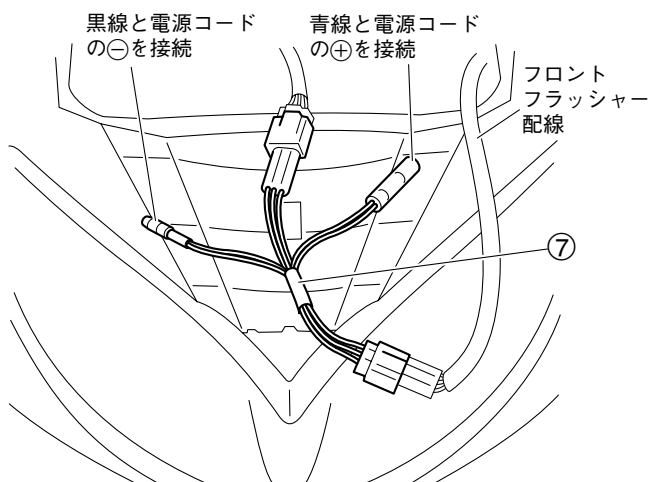
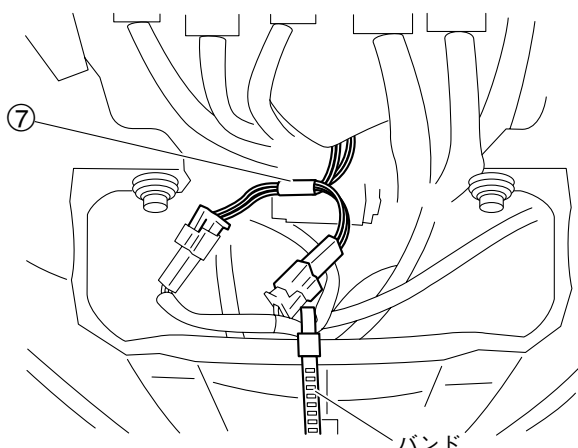
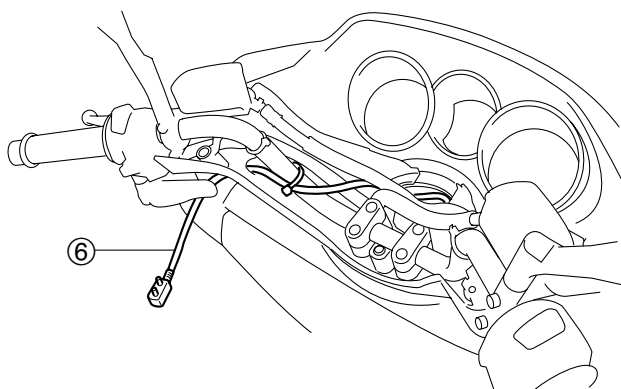
孔開けは正確に行ってください。孔が大きいとウェルナット組付け時に空回りしたり、組み付けできても走行中にマウンターアッセンブリーが外れる恐れがあります。

6. ウェルナット⑫をアッパーカバーに組み付け、スクリュー⑬でナビマウンターサブアッセンブリー①後側 2 か所を取り付けます。（ゴム製ナットですので締め過ぎに注意してください。）

要　点

ウエルナット⑫は小さめの孔径でも、スクリューを取り付けて引き込むようにすると、ナットが伸び外径がわずかに小さくなり挿入し易くなります。

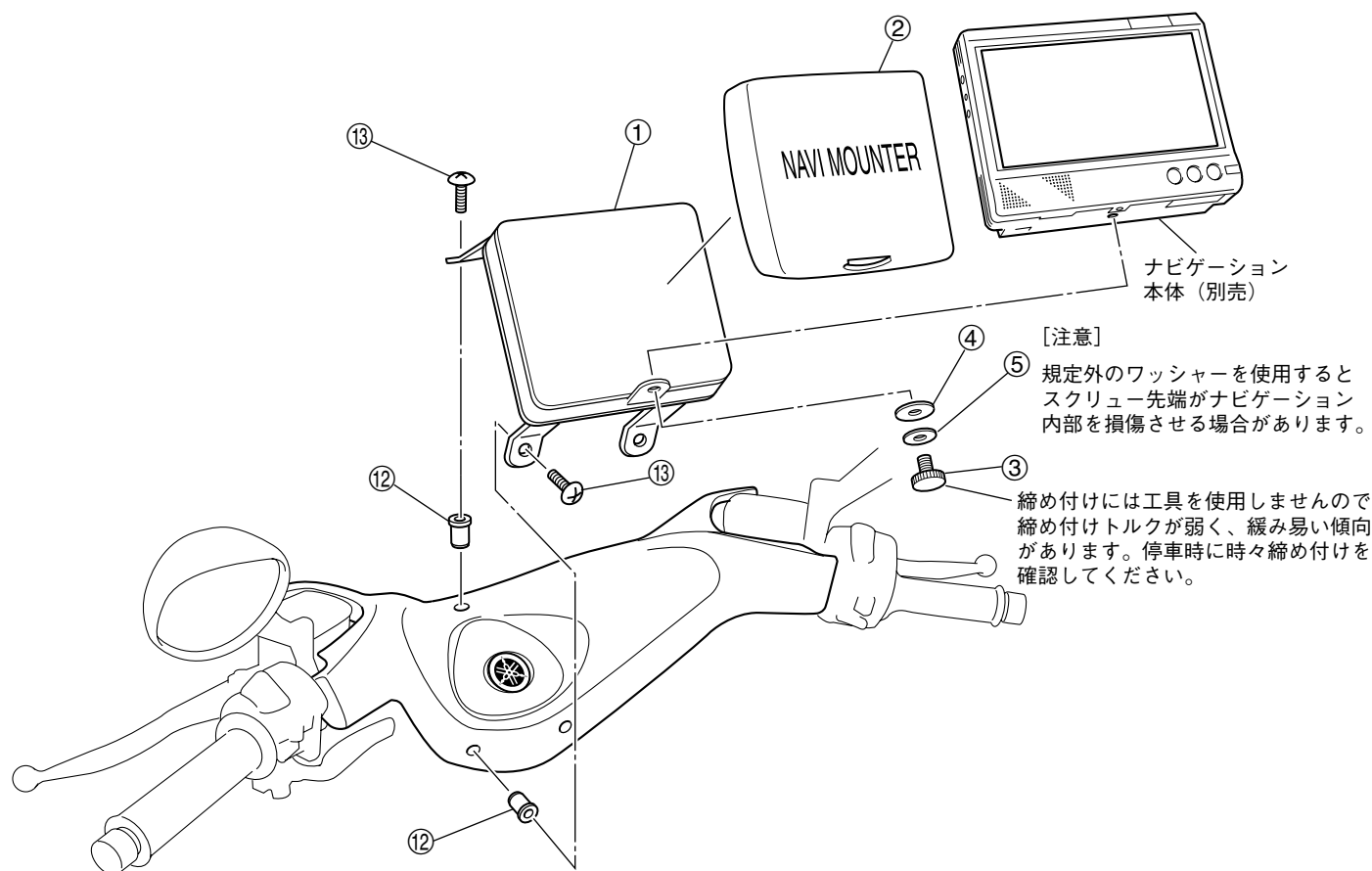
7. スタンダード車のアッパーカバーⓒ、ウインドシールドⓓを取り外します。

⚠ 注 意

アッパーカバーの取り外しは、アッパーカバーとウインドシールドⓓの嵌合部に⊖ドライバーなどを差し込んで行うと取り外しが容易に行えます。このときアッパーカバーとウインドシールド傷付き防止のためウエスⓔなどでカバーをして行ってください。

8. 加工した電源コード⑥のリード線をメーター下側付近経由でヘッドライト上部まで配索します。
9. バンドをゆるめて左フラッシャーリード線カプラーを外し、ワイヤーハーネス側カプラーと左フラッシャー側カプラーの間にサブハーネス⑦を取り付けます。
10. サブハーネス⑦の青リード線に電源コードの黒／白リード線（⊕）、サブハーネス⑦の黒リード線に電源コードの黒リード線（⊖）を接続します。

11. ゆるめたバンドで元通り固定します。
12. 配線がハンドル操作時に他の部品と干渉しないように取り回しをし、必要に応じてバンドで固定します。

13. 電源コード⑥をハンドルスイッチ左付近から下側に出し、ナビゲーション本体へ接続するための適切な長さを残してハンドルへクランプします。

14. ナビマウンターサブアッセンブリーを装着したハンドルアッパーカバーを元通り取り付けます。
15. ウインドシールド、アッパーカバーを取り付けます。

⚠注 意

- **取り付け終了後、各部品に緩みやガタつきがないか取り付け状態を充分に確認してください。**
- **ハンドルを左右に切り、取り回しは正常かどうかを確認してください。**

展　開　図

取　扱　方　法

⚠警 告

重大な事故につながるおそれがありますので、走行中は絶対に画面の注視や操作をしないでください。
('99年11月1日より道路交通法で禁止され、処罰の対象となっています。)

⚠注 意

- ナビの初期起動時にはディスクから情報の読み取りを行いますので、外部からの振動をうけたときに誤作動を発生する場合があります。２分以上経過しても起動しなかったり、赤いエラー表示がでた場合はナビ側電源スイッチをいったんOFFにし、再度ONにして起動し直してください。
- 駐車時や雨天時は、盗難防止や防水のため「でるナビ」本体を取り外し、厚みのあるやわらかい布などで充分に保護して安全な場所へ格納してください。
- 悪路など、走行条件が厳しすぎると情報ディスクの読み取り遅れが発生する場合があります。
- ナビ使用中は画面のバックライトなどが発熱しています。通風の妨げになりますので、カバーなどで本体を覆わないでください。
- マウンターに大きな荷重をかけないでください。ウレタンダンパーが破損するおそれがあります。
- シンナーなどの有機溶剤をウレタンに触れさせないでください。溶解、膨張し正規の機能を維持できない恐れがあります。

インターネットホームページ
http://www.ysgear.co.jp/mc/

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア　営業部 053-443-2180

●商品の仕様及び価格は予告無く変更される場合があります。●商品は予告無く販売を終了させていただく場合があります。●カスタムパーツ装着の場合、オートバイ本体のクレーム及びメーカーサービスを受けられない場合があります。

FAX.053-443-2187